

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急アンケート結果についてのご報告

福島区医師会相談支援室

現状を把握するため、2020年4月9日～4月23日介護事業所88か所¹⁾に対しアンケート調査を実施しました。調査項目は以下の通りです。①職場で困っていること②患者さん・利用者さんが困っていること③他機関との連携で困っていること④サービス提供にあたり事業所で個別に工夫していること

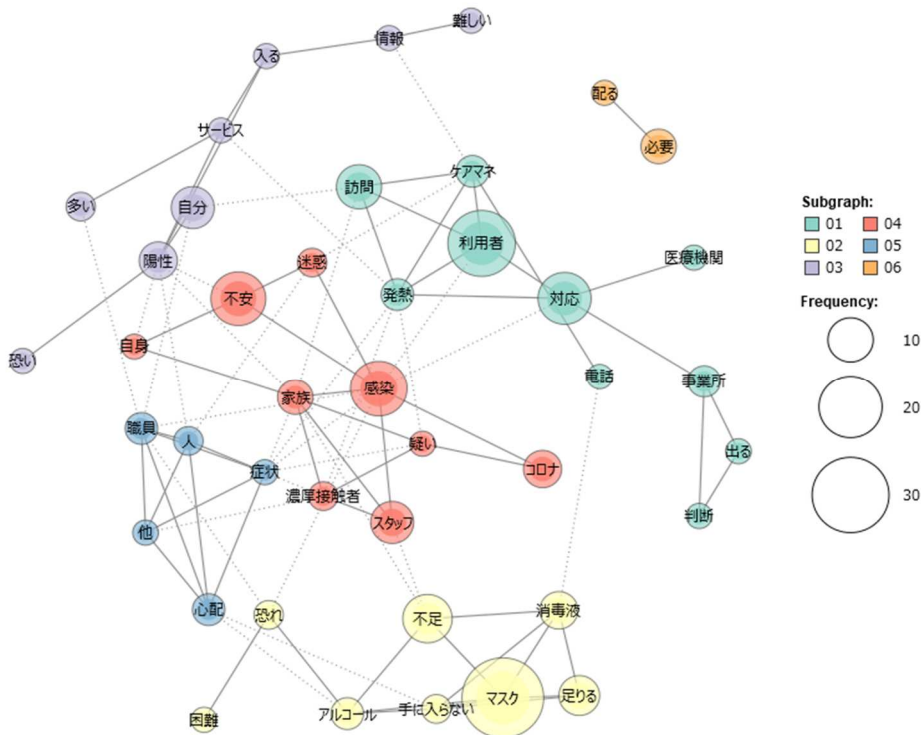
今回、36事業所（回収率40.9%）と別途聞き取りを行った18事業所を加えた計54事業所からの回答についてKH Coder(Ver.3)を用いて分析し、主要な意見をまとめましたのでご報告いたします。

1) 介護関係事業所とは以下の通りである。

居宅介護支援、訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ、通所介護、通所リハビリ、介護老人保健施設、小規模多機能型、居宅介護特別養護、老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム

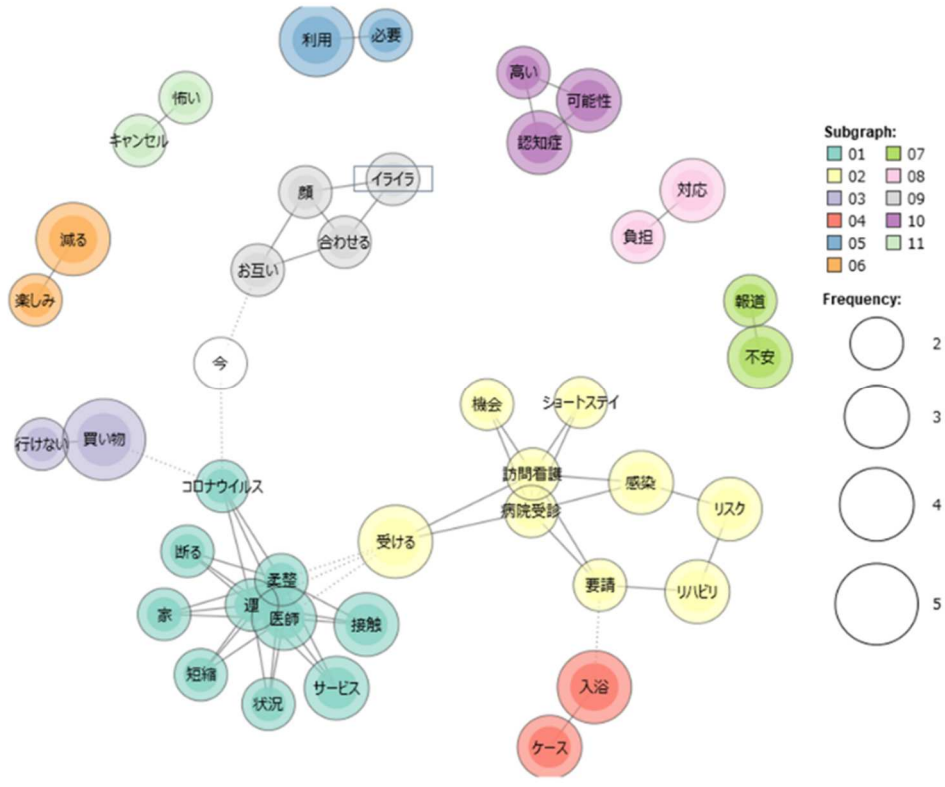
①職場で困っていること

「マスク、アルコールが手に入りにくい、不足していること」「濃厚接触者、感染疑いの方等への対応に対する不安」「事業所で発生したときや、発熱した利用者への訪問や対応」「自分が陽性ではないかという恐さを抱えてサービスに入っていること」「他の職員に無症状の自分がうつしてしまわないか心配」



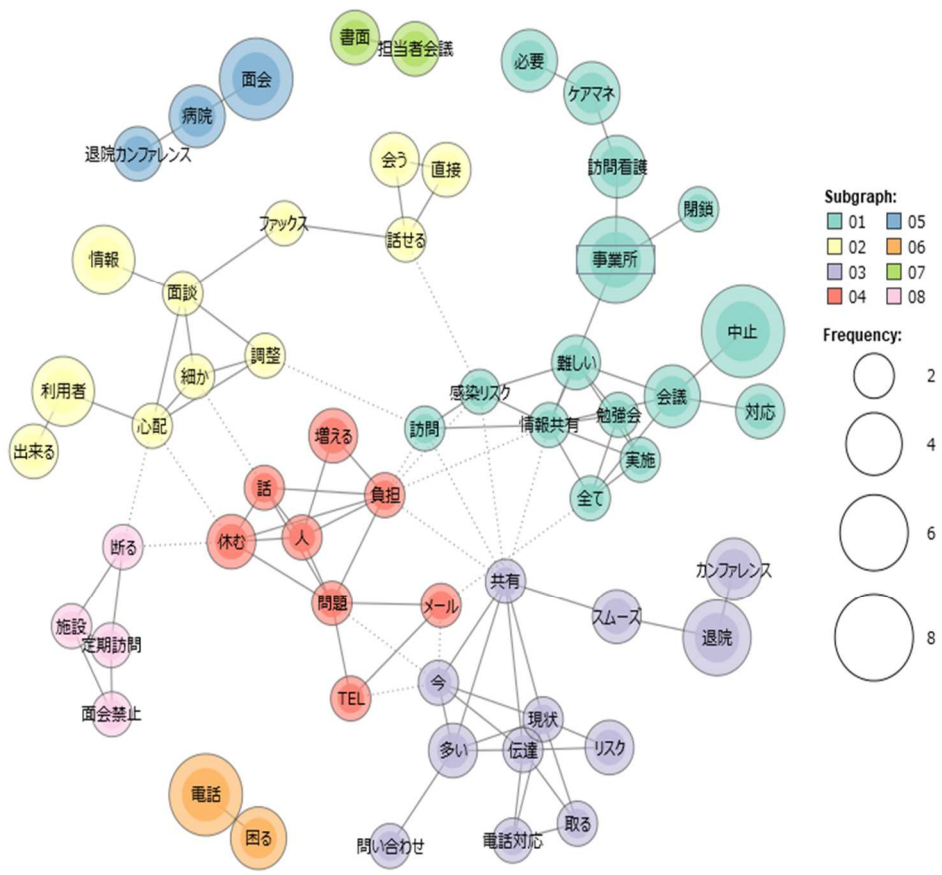
②患者さん・利用者さんが困っていること

「報道に対する不安がある」「認知症になる可能性が高い」「家族の負担が増えている」「テレワーク等で家族と顔を合わせるのでお互いイライラしている」「日常の楽しみが減っている」「買い物に行けない」「入浴できないケースもある」「新型コロナウイルス感染が怖いとサービスをキャンセルしている」「新型コロナウイルス感染のリスクから病院受診、訪問看護・リハビリが受けられない」



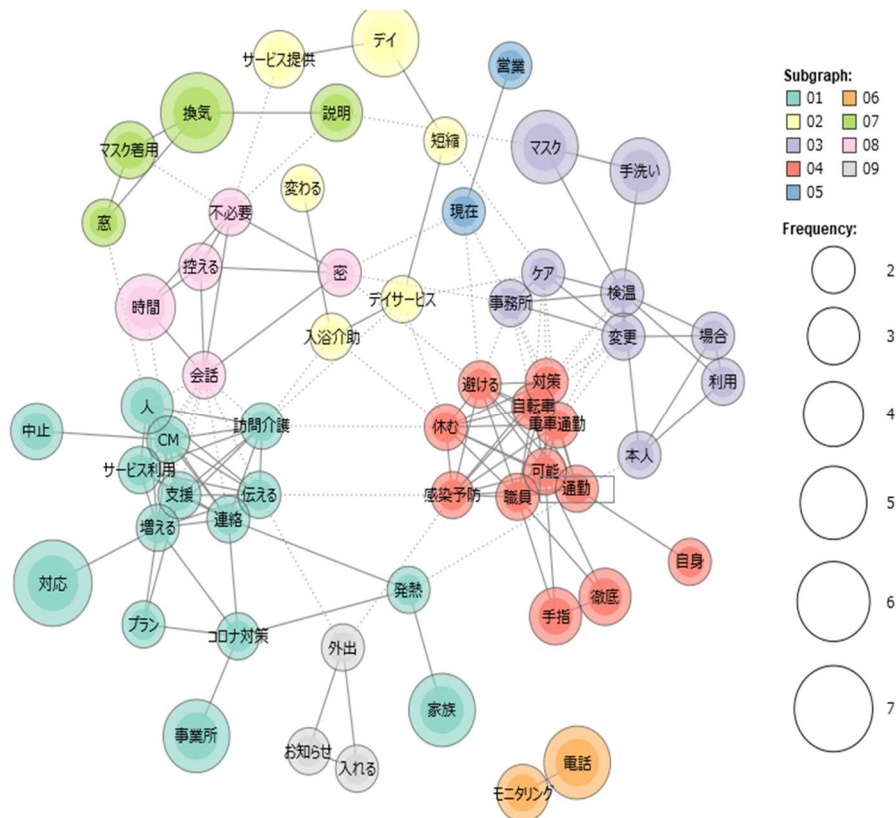
③他機関との連携で困っていること

「病院での面会、退院カンファレンスが禁止されている」「施設での定期訪問、面会が禁止されている」
「担当者会議が書面のみ」「直接会って話せない」「情報不足で細かな調整ができていないので心配」「電話対応等での伝達、共有リスクがある」「訪問看護、ケアマネの事業所が閉鎖したときの対応がわからない」
「休む人がいて事業所負担が増えている」



④サービスの提供にあたり事業所で個別に工夫していること

「訪問時マスク着用、窓を開けて換気している」「マスク、手洗い、検温を事務所でしている」
 「デイ等サービス提供時間を短縮している」「不必要なこと、密を控えている」「ケアマネのモニタリングを電話にしている」「職員は、電車通勤をさける、自転車通勤にする、手指消毒を徹底している」「デイの代わりに訪問介護を入れたりプランを工夫している」



コーディネーター会議にて課題を抽出し実現可能なことから取り組み始めています。
 活動内容については、適宜ご報告いたします。
 アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

2020年7月17日作成